

KSQ

ゆうとおん

通
信

NO.109

2018年8月号

郵便振り込み口座 00910-9-106532

編集人 (社福) ゆうとおん ゆうとおん編集員会 八尾市久宝園 2-30-4



尾崎 吉重 (おざき・よしげ)

1967年生まれ。51歳。柏原市の小中学校を卒業後、八尾養護学校(特別支援学校)へ。趣味は音楽鑑賞。

小中学校の友だちは、やんちゃな子が多くて昔はそんな子のほうが助けてくれた。ケンカに弱いと思われていたらしく、低学年がいじめてくると、その子らが僕を助けてくれた。養護学校でびっくりしたんは、小学生の勉強してたこと。なんでもや?って思った。なんか、なまぬることやつてるなつて。生徒会長しました。僕、賢そうにみえ

僕ね、若いころは、すごくキレイでした。それで、仕事も7回くらいかえました。上司とケンカしてやめる。いまの僕見てたら、わからへんでしょ。

ここで、生きる

人シリーズ №6

自分から話しますけど、今年の春、4年間一緒に暮らした彼女と別れました。ケンカが多くなつてしまつて。いまはスッキリしています。すごく年が離れていて、土日は遊びたい彼女。土日くらいゆつくり家で休みたい僕。相手になつて彼女とあんまり話しなかつたなつて思う。あんたたち、まだ付き合いが浅いよ、つて助言くれた人がいたけど、これでよかつたと思う。子どもをつくることも考えたけど、障害をもつた子どもが生まれる確率あるでしょ。嫌いやないけど、かわいそうかなつて。生まれた子どもが、バカにされへんかなつて。彼女は子どもがほしかった。それで僕プレッシャーかかってしまつて…。

- だけど、僕は、いつさんは結婚してみたいいと思つて。だつて経験してみないとわからないから。失敗してみてお互い、結婚する前によく知り合いうことが大事だつていうことが分かつたし。
- ・ゆうとおん定期総会第2部 みんなで「当事者活動」について語り合う (2)
- ・Go-on Live 2018 報告 光葉 慎二 (6)
- ・ちいき食堂ありありす ありありすを作る会 富澤 久美子 (8)
- ・リレーエッセイNo.4 「海の中に憧れて」 辻本 芳昭 (9)
- ・当世作業所事情No.71「賽の河原で石を積んでみる」 畑 健次郎 (10)



● 6月9日 ゆうとおん定期総会 第2部

みんなで「当事者活動」について語り合う

出席者
青山 祐二 (あおやま・ゆうじ)
徳山 大海 (とくやま・だいき)
西矢 育子 (にしや・いくこ)
宮田 祐子 (みやた・ゆうこ)
宮野 武 (みやの・たけし)

ゆうとおんの当事者の会「みんなできめる会」が活動を始めて3年。今年の総会は2部で、会のメンバーのみなさんに当事者活動について自分の思いを発表してもらいました。

進行 堀 智晴 (ほり・ともはる)

堀 今日は、当事者主体とは、どういうことか、「きめる会」のメンバーのみなさんのお話を聞きながら会場にいる方と一緒に考えてみたいと思います。ところで、どんな活動をしているんですか?

宮野 みなさん、こんにちは。昨年の「きめる会」の活動報告をします。ぼくたちは、毎月第4月曜日にあつまって会議をしてきました。5月は、虐待の勉強会、9月は、ぼくたちの給料がどうなっているか聞きたいという意見がでて、給料がもっとたくさんほしいので職員に説明してもらいました。でも、職員の説明はよくわかりませんでした。(笑い)

10月は、松原市の事業所で「虐待をなくそう」の発表会をしました。職員の人からよかつたと感想をもらいました。11月は広島であつたピープルファーストの全国大会にいってきました。

青山 みなさん、こんにちは。今年の「きめる会」の代表の青山です。今年は、ゆうとおんの中で、仲間をふやしていきたいです。そのために、いまアンケートをしています。答えをみてメンバーをふやすにはどうしたらいいか考えます。それから、虐待をなくすための発表会を今年もやりたいと思つています。もっと多くの人にみてほしいので、作業所をまわつたりしたいです。今年のピープルファースト大会は奈良であります。みんなで参加したいです。

堀 宮田さんは、どんなきっかけで「きめる会」にはいったのですか?

宮田 青山さんにさそわれたのがきっかけです。自分の気持ち、だれかにわかってほしいと思ったからです。今日みたいに、自分の気持ちを発表したり、みんながどんなことを思つてているか知つたり、「き

「めの会」がなかったらわからないこともあったたし、もっとと参加がふえるといいなって思う。呼び名のことを話し合ったときも、職員の人間にわかつてもらえてうれしかつたです。これからも、がんばりたいです。

徳山 僕は、はじめ、「きめる会」は、なんのことが分からなかつたけど、参加してみてこんな感じなんやつて。

勉強になりました。広島のピープルファースト大会に行って、いろいろな人と知り合つて、交流を深めたりできたからです。

「ピープルファースト」ってなんだ?

進行役の堀さんから、勉強になつたという徳山さんに「ピープルファースト」について質問が…

徳山 うん、それは…えっと、ピープルファーストってなんなん? (会場は爆笑) …ぼく、わからん。

宮野 年一回の大会は全国からあつまつてきます。世界からも参加があります。それで勉強したり交流したり、意見をいつたり、みんなすごく熱心です。

青山 虐待の勉強したり、ビンゴしたり…。

堀 楽しいこともやるけど、虐待がおきてほしくないから、つらい話もして勉強するんですね。



堀 宮野さんの報告にあつたように年に一回大会がありますね。世界大会もあつて日本から代表が出ている。どんなことをしているか、なにに困っているか、どんなふうに闘っているか、当事者の人たちが交流を通してお互いに助け合つたり相談しているようです。虐待が取り上げられるのは、日本でもたくさん起きているからで、どうしたらなくすことができるか勉強しているということだと思います。今年は奈良で大会がありますね。奈良のピープルファーストは僕の友だちです。ぜひ、奈良に来て下さい。

同じところで働いているのに仲間どうしのことを知らない。だけど、「きめる会」に入つて少しずつ相手のことがわかつてきました、宮田さんの原稿にはそういうことが書いてあると思います。

宮田 だから、いまのメンバーだけでやるんじゃないくて、他のメンバーも「きめる会」に入つてくれたらしい会になると思います。

堀 宮田さんの言い方、かつこいいですね。「みんなできめる会」だけど、いまはゆうとおんのメンバーみんなが入つてゐるわけじゃない、ということなんですね。

だれにも自分の気持ちはわかつてもられないと思ってたけど、会に参加してみたら、楽しいし、みんなの前で体験発表もできだし、これからも、いろんな場所で発表したい。みんなの体験も「きめる会」がなかつたら知らなかつたと思う。どんな気持ちで、どんなことを考えているのか、それを知ることができてよかったです、宮田さんの言いたいことはそういうことだと思いました。

当事者活動 それぞれの思いを語る

堀 宮野さんの報告にあつたように年に一回大会がありますね。世界大会もあつて日本から代表が出ている。どんなことをしているか、なにに困っているか、当事者の人たちが交流を通してお互いに助け合つたり相談しているようです。虐待が取り上げられるのは、日本でもたくさん起きているからで、どうしたらなくすことができるか勉強しているということだと思います。今年は奈良で大会がありますね。奈良のピープルファーストは僕の友だちです。ぜひ、奈良に来て下さい。

堀 今日のこの話し合いの前に、みなさんに発表する原稿を書いてもらいました。メンバーさんたちどうし、お互いに相手のことを探らないということが、これを読んでいるとよく分かります。

同じところで働いているのに仲間どうしのことを知らない。だけど、「きめる会」に入つて少しずつ相手のことがわかつてきました、宮田さんの原稿にはそういうことが書いてあると思います。

堀 続いて、みんなに発表をしてもらいましょうか。西矢さん、いかがですか？

西矢 みんな、私、これから、がんばって発表します。私は、宮田さんにさそわれて会に入りました。

発表する前は緊張するけど、注目してくれるから、発表は好きです。学校にてたとき、一人で発表したことあるし、なんとかできると思います。

今日は仕事について話します。私は、うえーぶで仕事しています。ドーナツの形をしたわっかをのせたり、どんぐり帽子みたいな部品をのせて完成させます。一度、堀さん、見に来てください。私ががんばつてみると、見てください。どんな仕事もまじめにやればいいと思います。仕事が好きです。仕事がたのしいです。仕事したいです。以上です。

堀 宮野さんに聞きたいことある。そんなにみてたかせて下さい。では次に宮野さんお願ひします。

宮野 時間を決めて、風呂も飯もはやく終わって十一時半まで、2本か3本みてます。

堀 宮野さんに聞きたいことある。そんなにみてたらちこちで、もっと自由にやらせてほしいと声をあげて仲間どうしがむすびついたのがピープルファースト運動の起りです。では、青山さんも意見きかせてください。

青山 「きめる会」と、パン工房で働いている青山です。仕事はパンを作っています。今日、みんなにお昼に食べてもらったパンは、僕が朝早く起きて仲間と焼いたパンです。おいしかったですか？

好きなことはボーリングです。いつもは200点超えですが、この前の大阪大会では緊張して131でした。今度は優勝したいです。

「きめる会」で一番よかつたことは、みんなの前で「虐待をなくそう」の発表をしたことです。ゆうとおんに来る前に働いていたところで社長や息子に怒鳴られたり、叩かれたことを言えたことです。悲しかつたり腹が立つたこと、嫌な気持ちを少しでも発表できました。今日はいろいろな話ができたらしいなと思います。



宮野さん(左)西矢さん(右)

堀 ピープルファーストの運動は、趣味や好きなことを、これまで自由にできなかつた知的障害の人たちが、自分たちは好きなように生きていいいんだと運動をはじめたのが始まりです。好きな人がいたら結婚もしたい、映画も観たい。でもなかなか観に行かせてくれなかつたり、やりたいことがあるのに、施設の職員や親、行政や専門家といわれる人達からあなたたちはそういうことをしてはいけないと長い間、自由を認められなかつた。それに対して、世界のあちこちで、もっと自由にやらせてほしいと声をあげて仲間どうしがむすびついたのがピープルファースト運動の起りです。では、青山さんも意見きかせてください。

堀 ピープルファーストの運動は、趣味や好きなことを、これまで自由にできなかつた知的障害の人たちが、自分たちは好きなように生きていいいんだと運動をはじめたのが始まりです。好きな人がいたら結婚もしたい、映画も観たい。でもなかなか観に行かせてくれなかつたり、やりたいことがあるのに、施設の職員や親、行政や専門家といわれる人達からあなたたちはそういうことをしてはいけないと長い間、自由を認められなかつた。それに対して、世界のあちこちで、もっと自由にやらせてほしいと声をあげて仲間どうしがむすびついたのがピープルファースト運動の起りです。では、青山さんも意見きかせてください。

宮田さん(右)青山さん(左)



徳山さん(左)堀さん(右)



全員 きめてるやんな、そやな。(そやーの声)

堀 すんません。決めているのは伝わってきます。

みなさん、しつかり自分の意見を言ってはるから。だけ、会に入っている人と、入っていない人がいるんですね。

宮田 だから、いまアンケートをとつてます。

入つてみたいか聞いてます。多くの人に入つてもらうために。できたら入つてほしいから。

堀 なるほど。でも、僕は入った人がやめてもいいと思う。

全員 えつ、どういう」と?

堀 だつて「みんなきめる会」は、つまらないとか、ものたりないとか…。

西矢 そんな」と言つてない!

堀 だけど、そんな人がいてもいいでしょ?

宮田 それはダメでしょ。

徳山 ぼくは、参加するしないは、仕事で忙しいといふこともあるし、時間がなくて参加できない人はしかたないと。一回参加してみて、こういうもんやなってわかつて、続けて参加したいというのもみなさん自由だと、ぼくはそう思います。

全員 来て下さーい!

終わりに

最後に堀さんから、障害がある前にまず人間なんだというピープルファーストの由来と障害者権利条約について話があり、「だれに遠慮もいらないので当事者活動をどんどん進めて下さい」の激励のことばでこの日の話し合いは終了しました。

尾崎 僕は週3回、会社のフリードローで働いています。「きめる会」のみんな、がんばっていると思う。僕は今日は仕事が休みで、総会やから来ているけど、平日の「きめる会」は出られない。

堀 忙しくて出られない人のことも考えてもうわないとね。

宮田 反対に、聞いているだけではわからないといふこともあると思う。会に入つて、やってみないと。時間がなくて無理という人もでてくると思う。

堀 そういうふうに本当は参加したいけど、時間がなくて参加できない人のことも考えて「みんなきめる会」は活動してるんでしょ?

宮田 そうです。できたら参加してほしいといふことで。

池田 はーい。はーとの池田です。みんなと「それをやり」をしていきます。

堀 池田さん、「きめる会」どう思いますか?

池田 OKです。はい、行きます。

全員 来て下さーい!

終わりに

堀 えつ、「みんなきめる会」って、本当にみんなで決めてるんですか?

青山 そこは、わからないです。

宮田 いまいち、わからへん。



4/30 プリズムホール in 八尾



Go-on Live 2018

今年はいつもの應典院が予約いっぱいで使えず、プリズムレセプションホールで行いました。大音量が出せないというホールの性格から、「轟音」を薄口にして、続けるということに意義を見出す「Go-on」Live ということで実施に踏み切りました。

出演者は5組。それぞれに個性がありました。オープニングはゆうとおんバンド。生野みんなの家の人たちや大音敦さんをフィーチャーしての楽しいロックンロールを。2番手はすぎなさんのダンス。例年よりキレがよくなっていた、というのが皆の評価。3番手の森田麻紗美さん（視覚障害）はクラシックとゴスペルの二刀流の感じ。ちなみに彼女はこの後、カラオケ大会で優勝しています。このあと三重県津市のスタジオピアからプログレス。元気一杯でした。その後光葉の演奏があって、フリーダンスタイムで締めくくりました。

今回はスタッフなど手薄、しかし「継続」というのが大事なテーマだったので、安全管理に重きを置きつつ、緩やかに事を進めていきました。貯めた力は次回で爆発させたい、と考えています。

さて、主催する側としてつらいことは、今回のように会場がない、ということです。ロックができるバリアフリー環境のコンサート会場で値段も手ごろなところがないのです。唯一の場所、應典院もシステムが変わって2日貸しが前提になりました。費用がきついです。行政は金を出しません。行政だけでなく世の中全体が障がい者のアートには冷淡です。



光葉 慎二(みつば・しんじ)

1954年神戸市生まれ。ソングライター、ギタリスト。

大学在学中から音楽活動を開始。クラシック、ロック、ジャズが専門。

現在は自身のジャズユニットやオリジナルジャズロックバンドで活動中。

2004年からゆうとおんで音楽指導。

なにせ音楽、体育、美術は「副教科」な国ですから。社会的弱者の副教科など世の人々皆どうでもよいのかもしれません。その証拠がこれです。だれでも有効利用できうるはずであろう自己表現の場所という社会資源が、一部のひとには不当に閉ざされていることに、いたって無頓着である。この国はまだまだ未成熟であると気づかされます。当初この社会の不条理に一石を投じることを旨として数名ではじめた実験的Liveではありますが、偉い方々にとやかくいわれることなく音楽を自由に演奏し楽しみうることはある程度は証明しいくつかのフォロワーが出現するにいたったことは喜ばしいことと自画自賛しております。

ともあれ4月30日、多大なるご声援有難うございました。



Go-on ライブ 出演者のみなさん



歌って踊って、みんなの笑顔
はじけた一日でした！





ちいき食堂ありありす なんでもありありす！？ 「ありありす」ってどういう意味？ あれもあり！これもあり！それもあり？なんでもありや～！！ っていう意味だそうです。 なるほど、「ぎやらりーありありす」には、さをり展あり、映画会あり、手話落語あり、手話教室あり、デッサン教室あり…「ショップありありす」には、洗剤あり、ひじきや干し椎茸やコーヒーあり、かき氷あり、自主製品あり…そして、毎月第1・3土曜日には、ちいき食堂あり。確かに何でもありや～！

ちいき食堂に通ってきてている子どもたちも、今日のメニューは、ハヤシライスや言うてんのに、「え～、きらいや、おにぎりがいいわ～」とハヤシライスの隣でおにぎりを食べる女の子たち、何でもありや～！食後は、2階のありありすでさっそく卓球が始まる。その横では「ミッションインポッシブルや！」と荷造り用カラーひもを、ドバ～っとふんだんに張り巡らせ、それに触らないようくぐっていく遊びを、一瞬でやって一瞬で止め、ごみ箱にポイ。あまりにもったいないので、ごみ箱から出してまた使えるようにくるくる巻いていると、「おばあ、何してんの？」と、何人かでくるくる巻き遊びが始まったり、なんでもありや～！ブロンズの裸婦像にビキニを着せサンダルをはかせ、ペディキュアをしてみたり、なんでもありや～！

「ありありす」の名前のとおり、本当に何でもあります、唯一あまりないのが、人材です。学習支援には、現役大学生もしくは、元教員だった人など、2名の登録が必要です。また、毎回のスタッフもゆうとおんの職員が、ボランティアで3名～5名で切り盛りしていて、3名の時は、さすがにくたくたです。子どもたちと楽しくかかわる人材がほしい！！ ある日、女の子から「なあ、おばあ、これって給料なんぼ貰ってるん？」 「給料は、もらってないで～ボランティアでっせー」 「～～！！なんでやってるん？」 すると、男の子が、「子供たちの喜ぶ顔がみたいからやろ～」と一言。いや～ええこと言うてくれるな～（涙）



店員に話を聞き、体験することとなる。
ずっと海の中に憧れていた私は、体験の日を、今か
今かと待っていた。場所は白浜の海、晴天、下手風。
これといつてないくらいの条件だという。
ウエットスーツに袖を通して、機材の説明を聞き、い
ざ海へ。

寝そべつたりして水面の光や水の中の景色を楽しんでいた。この景色が魚だったらどれだけ綺麗なんだろうと思いつながら…。
海とは関係ない月日が流れ20歳の頃、幼馴染に誘われダイビングショップに行くことになった。
ダイビングショップは街中にあり、海を思わせる雰囲気は一切ないと思っていたが、店内に入ると、ウエットスーツや機材、潮の匂い、海の映像など店内に入った瞬間から海を感じることができた。

海の中に憧れて

リーエッセイ
No.4

ボートに乗つて行くわけではなく、砂浜を歩いて海に入る。想像していたのとは違うが、まあいい。海の中に入れるのに文句はない。テレビで見る世界とは違い、そこまで綺麗な海ではないが、やつと憧れた海の中に入れた。綺麗な魚や、エアーの泡…浮いている様な感覚。嬉しかった。実際30分近く海の中に入つていたが、体感は短く、もつともつと海の中の景色を見たかった。

私はライセンスを取得することを決意。(1回潜るのにタンクを1本消費するので、回数を数えるのは1本となる)ライセンスを取得した後は言うまでもなく、何本も何本も潜つた。気がつけば400本を超えていた。みなさまも、一度、体験してみたらいかがでしょうか?

(辻本 芳昭)



●当世作業所事情 71

賽の河原で石を積んでみる

畠 健次郎

具体的な事例をめぐつていろんな意見が出されるのはいいことです。しかし、そこに垣間見える「当事者不在」をどう考えればいいのか、いつも迷います。

6月9日に第21回の総会がありました。

ゆうとおんの理念（立脚点）についても討議してもらう予定でしたが、時間的な余裕がありませんでした。ゆうとおんは一昨年に4つの柱を立てました。せめてこれだけはという思いで提起しましたが、議論はすすんでいません。話を前にすすめていくために、我流の「注釈」をつけてみました。

ピープルファースト運動は「私たちは障害者である前の人間だ」と主張しています。福祉をはじつている人たちはともすれば当事者を類型的、分析的に捉えがちです。

たとえば、この人はこういうこだわりを持つてい

るからこう対応すべきだ、といったように「参考」にしかすぎないものを公式化しがちです。情報や知識はあるにこしたことはありませんが、時には生きた当事者を標本にしてしまいます。

☆私たちは、当事者一人ひとりの
かけがえのない人生を「応援」します

久しぶりにAさんがエキサイトしました。少し離れたところにいた私が駆け付けた時は、もう落ち着いていました。もともとの気質の問題もあるのでしようが、彼女を追いこんでいるものの正体がよく分かりません。

福祉の仕事は一般的に言えば、「支援」の仕事ということがあります。しかし、支え援けるということばかりは、一方通行の語感は拭えません。

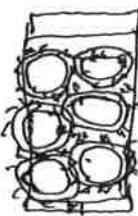
生きている者たちは絶えず揺らいでいます。この世でひとりしかいない存在と向き合っているという感覚を大事にしたいと思います。

「見た目」だけに引きずられない想像力がたいせつなのは言うまでもありません。

自閉的な傾向のあるBさんにパーテーション（仕切り）を用意しようという話が出ました。私は「Bさんに関しては本人の選択に任せてはどうか」という趣旨の発言をしました。それに対しては「よりよい環境を用意することが大事ではないか。Bさんに選択を求めるることはむつかしいのではないか。かえて混乱させてしまう」という雰囲気になりました。

斐ールドでたたかうのは当事者です。支援といふことばのなかの指導性、誘導性等を見直し、当事者との大人同士としての距離感を考える必要があります。操作の対象としての当事者ではなく、一個の主体としての当事者との向き合い方をイメージしてみてください。

☆私たちは、当事者一人ひとりの違いを
たいせつにすると共に、生活年齢を尊重します。



☆私たちは、当事者と共に
お互いさまの社会を目指します。

「おら、七つのとき子守りに出され、なにやるつたって、ひとりでやるには無我夢中だった。だから闘争が一番楽しかっただ。おらの身はおらの身であつておらの身でねえだから…」という闘争宣言を発したのは大木よねさんでした。

ある日、国家はいきなり彼女の農地を強奪しようとした。よねさんは国家の横暴に抗する三里塚闘争のなかで、お互いさまの思索を深めました。

『百年泥』という作品で芥川賞を受賞した石井遊佳

さんはインタビューに答えてこう言っています。

「私というのは、私であつて私ではありません人間同士はコミュニケーションします。それは同時にお互いの一部をやり取りし合うことです

……お互いがお互いを交換しながら、人間は存在していると考えるようになりました。……」

☆私たちは、当事者と対等の人格を持つ者
同士としての関係づくりに努力します。

森友学園関連の公文書改ざんをめぐつて近畿財務局の職員が自殺しました。安倍さんからは自分の国会答弁が、結果的に人の命を奪つたという自覚は感じられません。

すべての人は、母親をはじめとする多くの人に扶けられて生長していきます。やがて人は自分という存在を意識します。その時点ですでに「自分」は多くの人を取り込んでいます。福祉の現場で障害者と言われる人たちの中に「自分」はいるし、自分

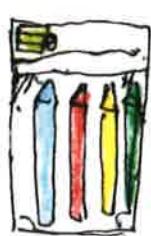
の中にも当事者は棲みついています。

国家や社会の抑圧や理不尽と向き合う個々人は微力ですが、課題をまえにしてお互いがお互いを必要とし合う時、それまでと異質な空間と思いが生まれます。

卑屈にならない、いばらない、差別されない差別しない、対等でお互いさまの関係を福祉の現場でも追求したいものです。

自分でありますけれど、自分たちでありますけれど、これが気持ちの中で重なる時、お互いさまの社会は目の前に広がっているはずです。

ごくまれに、他者の痛みをわがこととして共有できる人がいます。石牟礼道子さんの『苦界浄土』や、シモーヌ・ベイユの『工場日記』を読んだ時、そんな人もいるんだと感心しました。それから長い年月が経ちました。私は相変わらず、他者の痛みを共有できぬ痛みという迂回路の前でぼんやりしています。



憲法14条は「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されな

い……」とうたつています。

「支援者」の陥りやすいところですが、障害当事者を無意識的にせよ上下関係で見てしまいます。人権に上下はないこと、人格は対等であることを常に意識していかなければ、この国の「最高責任者」程度の人権感覚しか持てなくなってしまいます。

他人を自殺にまで追い込まなくとも、私たちはついパワハラに走ることもあります。みんなお互いま、縁あって同じ時間と空間を共有しています。互いの人格の対等性を認め合うことを忘れないで起きたいと思います。

一九九一年九月三日 第二種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日) 発行

定価50円



一九九六年 設立

ゆうとおんの思い
活気があるけれど ゆうたらしくして
裏剣だけれど かたぐるしくなく
とりあえずそこそこいれば
心と体がホッとする
どこにでもあります
どこを探しても なかなかみつから
ない
そんな しことばをくくりたい
ひくつにならず じうまんになります
小さなちがいに とらわれず
小さなこともないが しきにせず
失敗も たくさんして
どんどんじゅうになつていただき

ゆうとおんの活動に、ご支援、ご協力をお願いいたします

「協力会費」納入のお願い

日頃は、ゆうとおんの活動にご理解とご協力をたまわり有り難うございます。

1996年、障害のある人もない人も「みんなでつくる働く場」としてスタートしたゆうとおんも今では大所帯になりました。その前史は、保育所入所運動や普通学級での学びを求める市民運動にあります。これからも設立時の思いを忘れることなく地域交流を広げたいと思っています。

ところで、毎年ゆうとおんに関わるすべてのみなさま（職員含む）に、ゆうとおんを支える協力会費のお願いをしています。協力会費は、法人各施設の修繕費をはじめ、ありありするなど制度外の活動に使ってきましたが、今後は男性用グループホーム建設費の一部にも充てる考えです。なにとぞ、趣旨をご理解いただき今年もご協力たまわりますようお願い申し上げます。

- 年会費 一口 2000円、十口 2万円 ※一口からでも結構です。
- 各施設長に直接お渡しいただいても結構です。
- 同封の振込み用紙による郵便局からお振り込みも可能です。

社会福祉法人 ゆうとおん

本 部 /	〒581-0834 八尾市萱振町 2-133	TEL 072-993-0785	FAX 072-993-0784
ゆうとおんはーと /	〒581-0834 八尾市萱振町 7-68-1	TEL 072-926-6200	FAX 072-926-6199
ゆうとおんうえーぶ /	〒581-0817 八尾市久宝園 2-30-4	TEL 072-926-1543	FAX 072-921-8883
ゆうとおんほーぶ /	〒581-0834 八尾市萱振町 7-73-2	TEL 072-927-1300	FAX 072-927-1301
スタコラハウス /	〒581-0802 八尾市北本町 1-1-11	TEL 072-995-4387	FAX 072-995-4387
メールアドレス /	youtone@live.jp	ホームページアドレス http://www.eonet.ne.jp/~youtone	
年会費 /	1口 2,000円	振込先 / 郵便為替口座	00910-9-106532
発行人 /	関西障害者定期刊行物協会	大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4階	
定 價 /	50円		